

みずほCustomer Desk Report 2026/06/12号(As of 2026/06/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	160.61
TKY 9:00AM	160.53	1.1540	185.25	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	160.59	1.1590	185.43	1.3363	0.6994
SYD-NY Low	159.51	1.1503	184.73	1.3433	0.7055
NY 5:00 PM	159.94	1.1580	184.94	1.3325	0.6979
				1.3417	0.7050
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	50,848.75	929.97	日本2年債	1.4200%	0.0000%
NASDAQ	25,809.66	640.16	日本10年債	2.6800%	0.0000%
S&P	7,394.30	127.31	米国2年債	4.0599%	▲0.0834%
日経平均	64,217.27	38.00	米国5年債	4.1801%	▲0.0988%
TOPIX	3,830.35	▲17.25	米国10年債	4.4582%	▲0.0952%
シカゴ日経先物	66,270.00	2,935.00	独10年債	3.0251%	▲0.0427%
ロンドンFT	10,303.88	49.07	英10年債	4.9045%	▲0.0300%
DAX	24,209.71	14.40	豪10年債	4.8960%	0.0035%
ハンセン指数	24,249.29	▲158.67	USDJPY 1M Vol	6.72%	▲0.26%
上海総合	3,987.01	▲6.21	USDJPY 3M Vol	7.85%	▲0.01%
NY金	4,114.00	▲19.30	USDJPY 6M Vol	8.48%	0.00%
WTI	87.71	▲2.32	USDJPY 1M 25RR	▲1.00%	Yen Call Over
CRB指数	369.75	▲3.67	EURJPY 3M Vol	7.00%	0.09%
ドルインデックス	99.86	▲0.17	EURJPY 6M Vol	7.47%	0.13%

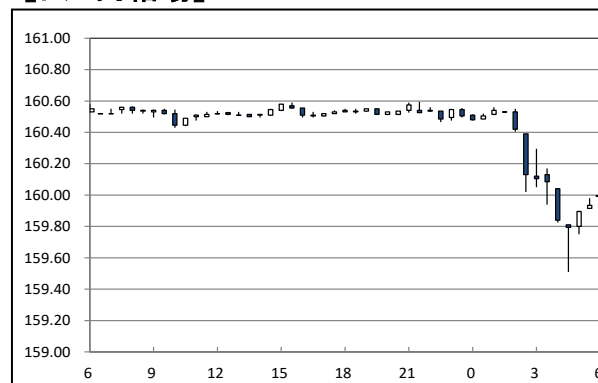
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月11日	21:15	欧 ECB預金ファシリティレート	11-Jun 2.25%	2.00%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	11-Jun 2.40%	2.15%
	21:15	欧 限界ファシリティ金利	11-Jun 2.65%	2.40%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	6-Jun 229k	220k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 1.1%/6.5%	0.7%/6.4%
	21:45	欧 ヲカルト ECB総裁 講演	-	エネルギーショックによる今後の影響を注視

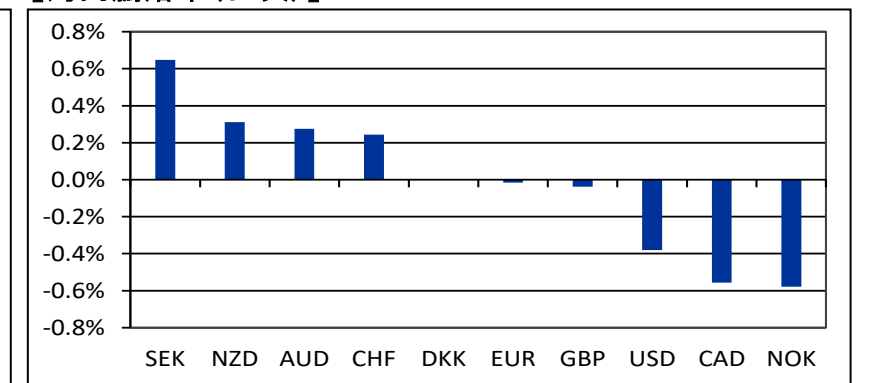
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月12日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	4月 -	0.8%/2.3%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 -0.2%/2.6%	-0.2%/2.6%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.1%/-0.1%	-0.2%/0.0%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -0.2%/0.5%	1.2%/1.2%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.1%/2.4%	0.1%/2.4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 46.0	44.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	159.80~160.60	1.1550~1.1630	184.80~186.00

【マーケットインプレッション】

本日のドル円は堅調な展開を予想。昨日、米トランプ大統領が対イラン軍事攻撃を開始すると発言し、有事のドル買いを背景としてドル円は高値圏で推移していたなか、海外時間には攻撃中止が伝わったほか、イランが核兵器を保有しないことで合意に至ったとの報道を受け、中東情勢への警戒感が後退。原油価格の大幅下落とともに、ドル円は一時159.50円付近まで急落した。本日も、中東情勢を巡るポジティブなヘッドラインはドル売り要因となり得る。一方、来週の日銀金融政策決定会合での政策金利1%への引き上げはほぼ織り込み済みとみられ、新たな円買い材料にも乏しいため、米国の根強いインフレ懸念などがドルの下支えとなり、160円台半ばに向けてじりじりと値を戻す展開となるか。

東京	東京時間のドル円は、160.53レベルでオープン。早朝に米国がイランに対し新たな攻撃を開始したとの報道を受け、原油価格上昇とともにドル買いがやや優勢となった。その後、米国がイランへの攻撃を完了したとのヘッドラインにより中東情勢への緊張が緩和したのか、一時ドル円は10銭ほど下落するもすぐに値を戻し、結局160.58レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、160.58レベルでオープン。目立った新規材料ない中で150.50台で方向感なく推移し、結局160.54レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米5月PPIが予想を上回った事を受け、発表後は160.59まで上昇。午後はトランプ米大統領がイランとの戦闘終結が間もなく終了すると思わせる発言を背景に159.51まで下落。一巡後は徐々に戻し、159.94レベルでクロス。一方、ユーロはECBが25bpsの利上げを決定。しかし、その後に行われたヲカルト総裁の記者会見ではエネルギー価格の高騰によるインフレ圧力を懸念する発言が見られ、その後は1.1503まで売られる。その後は先述のトランプ米大統領の発言を受けたドル売りを背景に1.1590まで上押し、その後1.1580レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は執筆時点で信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、みずほ銀行及びみずほフィナンシャルグループの統一された見解ではありません。当資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。当資料の著作権はみずほ銀行に帰属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。また、ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。